

校友會々報

愚かなる蒋介石は容共抗日の毒を吐いて自國の民草を枯らした。東洋民族を救ふ爲に我が忠勇なる將兵は十字火となつて進撃した。そこに前代未聞の支那事變が展開された。世界の眼は集まつた。皇軍の連戦連勝と敗戦蔣軍のばか面をみよ。一年有半の戦果は北中大陸の掃蕩とその宣撫である。

我が祖山學院校友諸師もすでに聖戰に参加し、宣撫に進出せられて爲法爲國不惜身命の金文を色讀してゐる。こゝにその芳名をつらね感謝の意を表する。

◆ 出征 (イロハ順)

岩田堯親	石黒湛全
井上昭	林是幹
半田清	堀内義光
小川龍聰	加藤鍊明
掛橋泰壽	勝部亮蓮
田邊正知	高木鍊精
中里是要	片岡光乘
武内觀良	中谷堯順
大橋潮育	松下圓信
前花鍊章	古屋是開

校友會々報

◆ 宣撫班

櫻榮鍊靜	重盛快哲
望月本修	鈴木智久
小崎龍雄	田丸泰宣
宇佐美鍊昌	草ヶ谷宣慶
結城瑞光	

此に出征會員の武運長久を祈ると共に宣撫員として活躍せる會員の法運無盡を祈る次第である。尙昨秋赤紫部隊從軍布教師として勇名を轟かせた灘上惠教君は戦線に負傷して長く大阪陸軍病院に加療中であつたが略々全快して目下加藤、林、岩田三君應召後の母校の軍事教練を一手に引き受け、同時に厚徳寮副舎監として勤務して居られる。其の外の會員中にも川口智隨君が宗務役員として就任せる外或は信行道場に入りて將來活躍の第一步を踏み出せるあり、遠壽院の行堂に滅罪の苦行を積みつゝある諸君あり、各地の化境を守りつゝ鉢後の固めに盡力せられつゝあるの狀は慶びに堪えない。只其の中に先輩麻生是忍(日暗)師が今春忽然遷化せられた事は一抹の寂しさを覺ゆる次第である。

本年は校友會報を發行の豫定であつたが校友の動靜も判明せざる上に岩田、林兩幹事の續いての應召で頓挫してしまつた。來年度を期して各支部及一般會員諸君の通信を希望しつゝ、擲筆する。

(武田)